

- 土砂災害防止「全国の集い」の連携行事として、6月11日に「令和8年度 滋賀県砂防工事施工技術等連絡会」を開催しました。
- 令和7年度インフラDX大賞21件中3件が砂防関係であることが紹介されました。
- 生産性向上に資する遠隔・自動施工の推進に向け、受・発注者双方の立場よりさまざまな意見が出され、活発な議論が行われました。

日時: 令和8年6月11日(木) 10:00~11:50
場所: ピアザ淡海 2階 207会議室
主催: 国土交通省、滋賀県、(一社)滋賀県建設業協会
参加者: 86名

開会挨拶



近畿地方整備局
福渡 河川部長

講演



国土交通省砂防部保全課
山本土砂災害対策室長



「砂防関係工事における 施工技術等に関する取り組み」

近年の土砂災害の傾向と分析、林野火災後の土砂流出、全国的に取り組むSABO-DX、遠隔・自動施工の推進検討委員会等について紹介

取組事例発表



近畿地方整備局企画部
菊池施工企画課長

「近畿地整における インフラDX取組」

導入型ICT活用工事や近畿インフラDX推進センターにおける研修等を紹介



滋賀県 県土整備部
流域政策局 砂防室 紘澤主幹

「伊吹山における令和6年の 土砂災害対応について」

災害の概要と関係機関で構成されるプロジェクトチームによる対応を紹介

閉会挨拶



滋賀県
森川 県土整備部長

聴講風景



施工業者の多くの方が参加



質疑応答状況

【意見交換】 遠隔施工管理におけるドローンの積極的な活用など、今後の遠隔施工のさらなる普及・展開に向けた、行政・受注者双方における取組について、活発な意見交換が行われました！



(株)中和コンストラクション
大浦 代表取締役社長

「電波不感地帯における 生産性向上と省人化を 目的とした遠隔施工に ついて」

栗平川2号砂防堰堤垂直壁他工事(紀伊山系砂防事務所)での汎用性のある生産性向上の取組を紹介



(株)内田組
小谷 現場代理人(右)
岩崎 監理技術者(左)

「砂防工事のICT活用による 生産性向上と仮設 安全対策について」

滝川補助通常砂防工事(滋賀県大津土木事務所)における積極的なICTの取組を紹介

